



# 通信

HP 学校だより  
R5.9.1  
NO.17  
文責 伊藤美佳



## 2学期 どうする！

8月21日（月）の全校出校日に子どもたちの元気な顔が見られてうれしかったです。遠距離通学の子どもたちは、久しぶりの登校でかなり疲れていましたが、生活リズムを整える上で、貴重な1日だったと思います。そして、残暑厳しい折、登下校を見守ってくださった地域の方々、保護者の皆様に感謝申し上げます。

さあ、2学期の始まりです。2学期は、一番充実した学習ができるとともに、たくさんの行事がある学期です。授業でも行事でも、子どもたちの「生き生き」と輝く姿がたくさん見られることを期待したいです。

さて、多くの豊坂っ子は、行事が大好きです。相撲大会やマラソン大会の前には、力をつけるために自分から練習に取り組む子どもがたくさんいます。「自分で目標を決めて練習をし、努力し成果を当日に出せた」といった経験から、自信を得て、大きく成長している子どもは多いと思います。もちろん、悔しい思いをすることも大切な経験です。次にその思いが生かされるからです。また、学芸会では、自分以外のものを演じるという貴重な体験をします。その役のキャラクターを設定し、言動を考えることはおもしろい作業です。仲間とともに考えれば、より楽しい経験となることでしょう。周囲の人に認めてもらって自信がついたり、自分の意外な一面を発見できたりするかもしれません。そんな経験が子どもたちを「生き生き」させてくれると確信しています。

その経験にプラスしたいものがあります。それは、「計画、立案、当日までの準備、当日の運営」といった裏方の活動です。準備されたものをただ行うだけでなく、少しでもそういった活動を経験できたとしたらどうでしょう。「自分たちで」考え、「自分たちで」活動することの大変さやおもしろさ、そして、「やってみて初めてわかる」ことを学ぶことになり、この経験が更に子どもたちを「生き生き」とさせ、次への意欲につながられるのではないのでしょうか。1年生から6年生と取り組む活動の違いはあっても、どの学年の子どもたちも「自分たちでやってみる」体験や経験ができる充実した2学期にしたいと考えています。ご理解とご協力をお願いいたします。

## アンタレス

夕方、南の空に赤い星を見つけたら、それが「さそり座」の中の「アンタレス」という星です。星の色は温度を表しています。赤い星は温度が低く（逆に青白い星は温度が高く、新しくできた星）そろそろ星の寿命が近づいている星です。地球からの距離は約550光年（光が1年で進む距離）なので、今見えている光は550年前にアンタレスから出た光ということになります。550年前というと、日本は応仁の乱（室町時代～戦国時代）が起きていたころとなります。もしかして、爆発してなくなってしまった星であっても、遠くの星なら見えているということになります。秋の夜長、家族で星空を眺め、今見ている星の光はいつごろのものか思いを馳せてみるのもおもしろいかもしれません。

